

令和7年度活動報告書

| | |
|-----|---|
| 団体名 | 海と子どもの未来プロジェクト実行委員会 (通称：さんりく BLUE ADVENTURE) |
|-----|---|

1. 団体の活動内容

東日本大震災後、海離れが静かに進み、海で遊ぶ機会が減少するなか「子どもたちに海体験や知恵を伝え、学びあう機会をつくろう」「親子で海の楽しい思い出を作り、海のまち釜石への郷土愛と生きる力をはぐくもう」と、釜石の海や自然を愛する人々がつながり設立いたしました。

釜石ライフセービングクラブ、漁師、海の専門家らが協力し、船の伴走・同行による安全確保のもと、海体験活動を2012年から13年間継続しています。

以下、毎年継続開催しております

- ・「海あそびワンデイキャンプ」
- ・その他、「海辺で自然体験や交流を行う活動」

2. 令和7年度の活動内容と成果

第12回「海あそびワンデイキャンプ」を開催

■日時：2025年8月24日（日） 8:45～16:00

■場所：箱崎白浜漁港～ビーチ

■参加者：大人19名、子ども30名、スタッフ35名

■内容：

漁師さんの漁船に乗り込み、釜石のシークレットビーチに上陸し、美しいビーチで1日思い切り遊びます。スノーケリング、シーカヤック、SUP、ニッパーボード、水上オートバイ、漁船乗船、自然観察など、好きな遊びを見つけ、自主的に「やりたい」と思ったものに挑戦します。親御さんも一緒にやってみたり、見守るだけでもOK。自然と行ってみる、その方にとって自然なタイミングを大切にしています。また、できるだけユニバーサル対応も行い、ハンディのある方も来ていただけるような配慮を行っています。

今年も砂浜では、みんなの楽しそうな笑顔でいっぱいになりました。

東日本大震災で受けた大きな悲しみは消えることはありませんが、「海はやっぱりいいところだ」「子どもたちへこうした体験が必要だ」と思ってくださったとお声をいただいています。海とその方とのつながりを育むことが、その方の生きていく何かの力になると信

じてやみません。

また、自助防災の体験として、釜石ライフセービングクラブによる、「ういてまで講習」を必ず行っています。おぼれた人を見つけたらどうする？浮いて待ての正しい体勢は？など、毎年必ず学び体験する時間を作っています。

ランチは、地域のお母さんたちのてづくりカレーです。きらきら輝く海を見ながら、みんなでいただきます。

最後は、たくさんの思い出を育んでくれた自然へのお礼と敬意をもって、みんなでビーチをきれいにします。

今年はとくに、地元の高校生が数年ぶりに参加してくれたうえに、スタッフとして参加することで、担い手として成長してくれました。「来年もまたお手伝いさせてください！」と言ってくれました。これまでの活動を続けてきて本当によかった、今後もこうした子どもたちのために活動していこう、と思う出来事でした。

■ ↓参考ニュース動画「支えられる側から支える側へ 海への恐怖心を癒すためのイベントに参加してきた4人がボランティア参加 岩手」

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/2161952>

「海あそびワンデイキャンプ」は、こうして、たくさんの地域の方や仲間との交流の機会、自然アクティビティ体験を取り入れ、毎年楽しみにしてくださる方や仲間が増え、支えられている活動への育まれています。

(安全管理は、釜石ライフセービングクラブと共に行い、津波警報などの際には、背後の山道をのぼり、高台へと避難します)。

【ニュース】

2026年3月 日本マリン賞の「環境・安全・普及部門賞」を受賞

<https://www.umiikou.com/marine-award/>

海とマリンレジャーを愛するすべての人を応援する UMI 協議会が発足した「日本マリン賞」。2025年、最もマリン業界に大きく貢献した人物や団体を表彰するもので、当団体の活動が受賞され、3月20日に授与式に出席して参りました。

ゲスト審査員のタレント・IMALUさんから、トロフィーも手渡していただくことができました。

■表彰式での様子↓

<https://www.kazi-online.com/articles/umi2026boatshow>

3. 令和8年度の活動内容

令和7年度と同様に、

- ・「海あそびワンデイキャンプ」開催（年1回）
- ・「海辺で自然体験や交流を行う活動」（年数回） を開催の予定です。

4.活動写真

